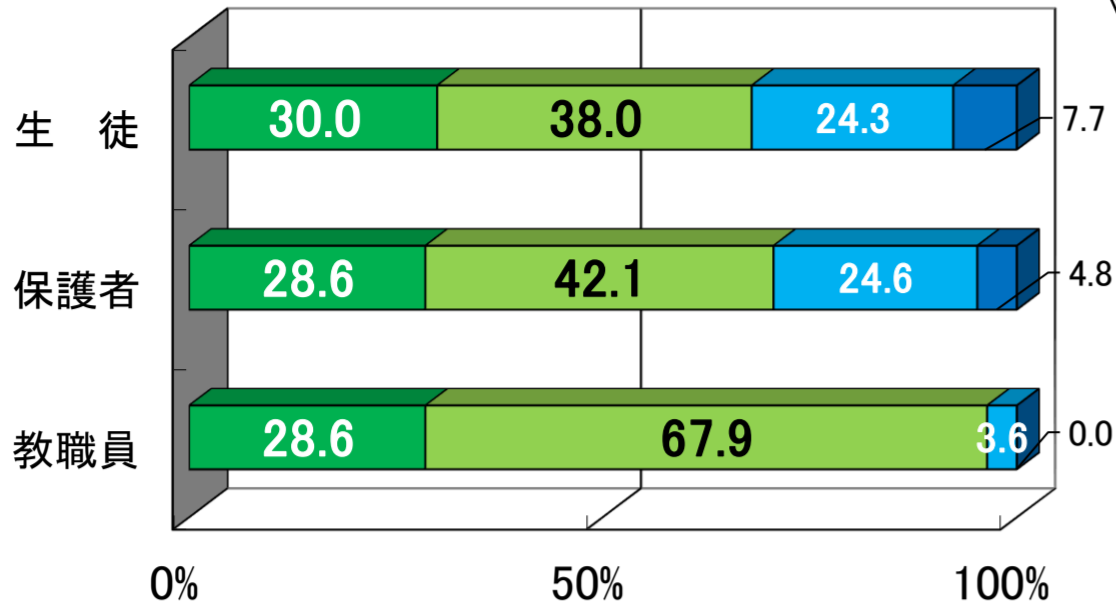


＜ 令和4年度「学校評価アンケート」の結果について② ＞

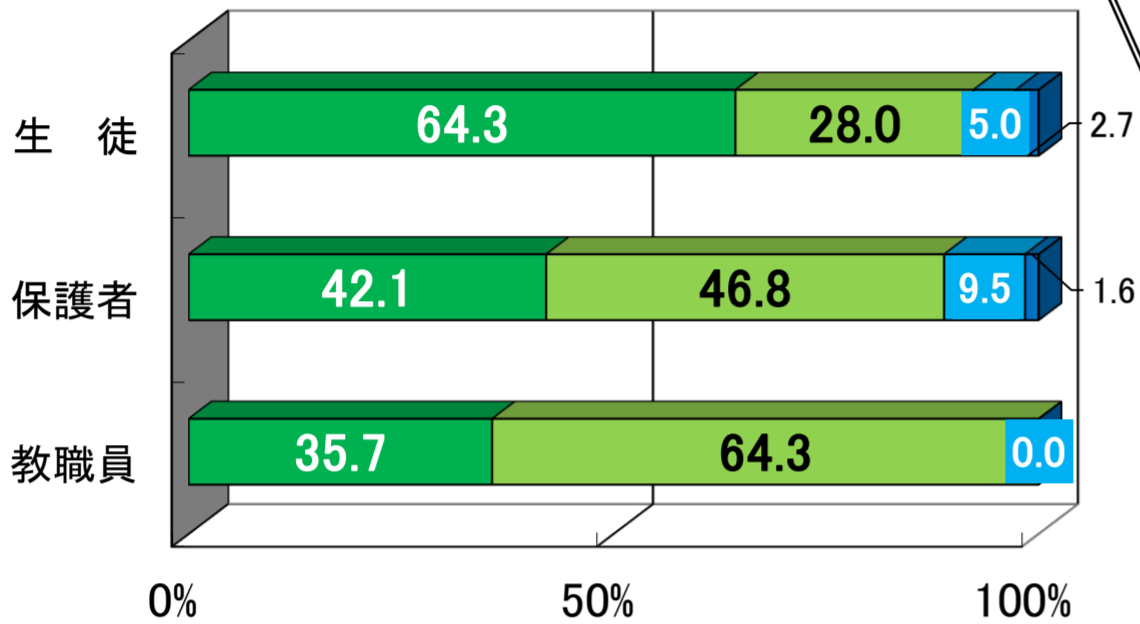
6【改】自分を高めるために目標をもって過ごしている



◆重点の「高め合う」を意識して、昨年の設問に「自分を高めるために」という言葉を加えました。昨年度と比較して否定的な回答が、生徒は約17%、保護者は約12%増加しました。

※今年度も、一時期、学級閉鎖が続いたことや、様々な制約のため、体を動かす機会を十分に確保できなかったことが影響していると思われます。今後も、お子様の安全と健康を守るために、校内の危険個所の普段の確認・見直しや交通安全を含めた安全指導の徹底、マスク生活の緩和に応じて、心身の健康を増進するための教育活動を展開してまいります。

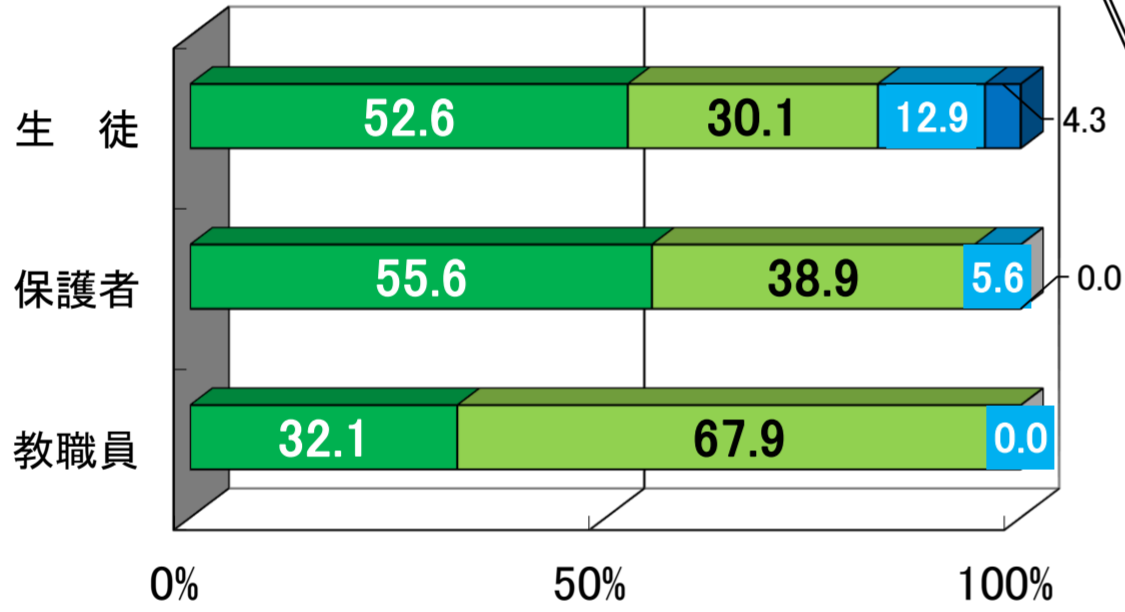
7【新】支え合ったり、競い合ったりする仲間がいる



◆重点の「支え合い・高め合う」を意識して、新たに加えた設問です。生徒の約8%、保護者の約11%が否定的な回答をしています。

※学校は、生徒が社会に出た時のために、各教科等の学習を通じた知識に加えて、多様な人々と認め合い、支え合い、高め合うことの意義や価値を体験的に学ぶ場です。意見の違いを踏まえ、よりよい方向を模索し、トライアル&エラーすることも大切な学習です。今後も、学級や学年、生徒会活動など、生徒同士の多様なかかわりをおして、仲間の大切さを実感することができるような教育活動を工夫してまいります。

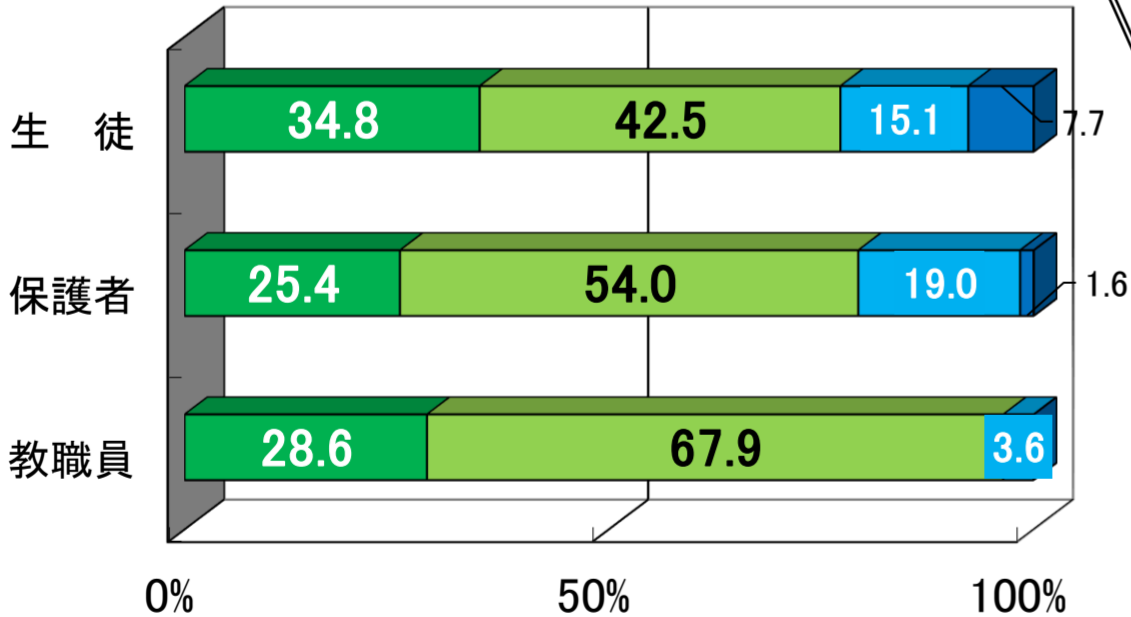
8 昨年より成長しているところがある



◆昨年度と比較して、「そう思う」と回答した生徒が約12%、保護者が約25%、教職員が約22%増加しています。

※子どもの「自己評価＝自己有用感や自己肯定感」を高めるためには、周囲の評価を、本人が実感を伴って理解する必要があります。今後も、教職員の日常的な声掛けを含めた評価の在り方を工夫改善するとともに、生徒同士(同学年・異学年)の「支え合い・認め合い」の場も増やしてまいります。保護者の皆様も、ご家庭で「ダメなことはダメ」を徹底する中で、お子様の成長を「認め、励ます」声掛けに、ご協力をお願い致します。

9【改】悩みなどを相談しやすい



◆昨年度の「親身な対応、相談しやすい環境である」と「生徒と教職員は良好な関係を築いている」を、1つの設問にしました。生徒は、ほぼ同傾向の回答でしたが、保護者の「あまり思わない」が約12%増加しました。

※本校では、全教職員40名が、「いつでも・誰でも」ご相談をお受けするよう心掛けてまいりましたが、敷居が高いと感じている生徒・保護者がいらっしゃいます。今後は、皆様から安心してご相談いただくことができるように、日常的なコミュニケーションをこれまで以上に大切にするとともに、お受けした際は、ご相談者の気持ちに寄り添うことを最優先に、関係機関とも積極的に連携しながら、丁寧かつ迅速に対応してまいります。

10 必要な情報が伝えられている



◆昨年度と比較し、生徒は「そう思う」が約10%、保護者は「そう思う」と「ややそう思う」の合計が約6%、教職員は「そう思う」が約32%増加しました。

※生徒の設問は「保護者に学校・学級等の情報を伝えていますか」です。コロナ禍のこともあり、大切なお知らせ等をきちんと伝えようとする姿勢が伺えます。一方、学校としては情報発信に努めたつもりでいたものの、保護者の回答は、昨年度と大きく改善傾向にはなりませんでした。来年度は、生徒が毎日持ち帰っているタブレット端末や、メール・ホームページを有効活用するなど、各種の情報を、より迅速・正確にお伝えする方法を工夫・改善してまいります。